

目ざまし時計 取扱説明書 電波クロック

このたびはセイコークロック商品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

この取扱説明書の内容は、将来予告なく変更することがあります。あらかじめご承知ください。印刷による制限のため、この取扱説明書の図が実際の表示と異なる場合があります。この時計によって生じた、いかなる支出、損益、その他の損失に対して、弊社は一切の責任を負いません。この取扱説明書の内容の一部またはすべてを、製造者の許可なく転載・変更・複製することは禁じられています。

本製品、またはアフターサービスなどについてご不明なことがありましたら、製品の裏面または底面に表示されている製品番号（品番）をご確認のうえ、セイコークロック（株）お客様相談室にお問い合わせください。
（例：AM000、KRO00、SQ000など）

お客様相談室 0120-315-474

<http://www.seiko-clock.co.jp>

発売元

セイコークロック株式会社

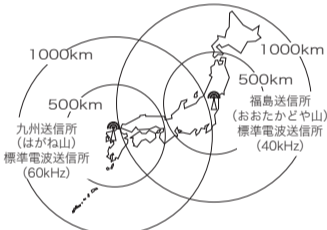
説明書番号 FDA-014Q

製品の特長

- 標準電波を受信して現在時刻・日付を表示する、電波修正機能つき。（日本国内対応）
 - 東西電波（福島・九州）を自動選局。
 - 音声・スヌーズボタンを押すと、**現在時刻または月日を音声でお知らせ**します。（アラーム時刻、現在時刻を合わせるときも、音声でお知らせします。）
 - 音声は**日本語／英語の2ヶ国語を選択**できます。
 - 1分ごとに15分間、現在時刻を音声でお知らせ**するオートスピーキング機能つき。
 - 時報をセットすると、**毎正時（0分）に音声で時報をお知らせ**します。
 - アラームは、**音声と電子音でお知らせ**します。（アラームと時報を同時に使用することはできません。）
 - アラームを一度止めてもまた鳴るスヌーズ機能つき。
 - アラームは、約5分後に自動的に止まるオートストップ機能つき。
- ※電波を受信できない場合でも、クォーツ時計としてお使いいただけます。

電波クロックについて

- 電波時計／電波修正機能とは？
正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に時刻を修正・表示します。
- 標準電波とは？
情報通信研究機構（NICT）が運用している時刻情報をのせた電波で、国内2カ所から異なる周波数で送信されています。標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という超高精度を誇る『原子時計』によるものです。
- 電波の受信について
標準電波の受信可能な地域は条件によって異なりますが、送信所（東・西2カ所）から、おおむね1000km～1200kmです。この製品は、40kHz（福島送信所）、60kHz（九州送信所）のいずれか受信しやすい電波を自動的に選択し、受信します。ただし、天候、設置場所、時計の向き、時間帯、地形、建物の影響などによって、受信できない場合があります。
- ご注意
●電波障害などによって、誤った時刻が表示される場合があります。また、設置場所や電波状況によっては受信できないことがあります。そのようなときは、場所を変えてお使いください。
●電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で動作します。
●標準電波は、毎時15分と45分から各1分間はコールサインの送信を行うため、一部の時刻情報の送信が中断されます。また、設備のメンテナンスや落雷などの影響により電波の送信が停止（停波）することがあります。停波に関する情報は、弊社ホームページをご覧ください。
（ホームページアドレス <http://www.seiko-clock.co.jp>）



故障かな？と思ったときは

本製品が正常に動作しないときは、修理を依頼される前に、以下の表を参考に対処してください。なお、新しい電池と交換する場合は、電池の使用推奨期限をご確認のうえご使用ください。

症状	考えられる原因	処置
表示が出ない 音が出ない	●電池が入っていない。 ●電池の容量が少なくなっている。 ●電池が正しい向きで入っていない。 ●きちんとリセットされていない。	●新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、「リセットボタン」を押してください。 ●電池を正しく入れ直して、確実に「リセットボタン」を押してください。
時刻またはカレンダーの表示が欠けている	●電池の容量が少なくなっている。 ●きちんとリセットされていない。 ●静電気等による誤動作。	●新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、「リセットボタン」を押してください。 ●電池を入れ直してから確実に「リセットボタン」を押してください。
時刻またはカレンダーが合っていない	●受信に成功していない。 ●電池の容量が少なくなっている。 ●きちんとリセットされていない。	●「■電波を受信できなかった場合」をお読みになり、再度受信させてください。 ●新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、「リセットボタン」を押してください。 ●電池を入れ直してから確実に「リセットボタン」を押してください。
進むボタン/戻るボタン 受信ボタン、時刻/日付 合わせボタンが効かない	●ロックスイッチが「ロックの位置」になっている。	●ロックスイッチを「セットの位置」に合わせてください。
アラームの音が鳴らない	●「アラーム/時報スイッチ」がOFFになっている。 ●静電気等による誤動作。	●「アラーム/時報スイッチ」をONにしてください。 ●電池を入れ直してから確実に「リセットボタン」を押してください。

保証・アフターサービス

- この時計はメーカー保証です。保証の内容については保証書をご覧ください。なお、保証書は日本国内のみ有効です。また、アフターサービスも日本国内のみの対応となります。
- 保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、販売店がお預かりし、メーカーが無料で修理いたします。必ず販売店名が捺印された保証書を添えてご依頼ください。
- 保証期間中でも無料修理の対象とならない修理品、および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- この時計の修理用部品は、製造終了後3年間保有しています。この期間は原則として修理が可能です。修理用部品とは、製品の機能を維持するために不可欠な時計本体の部品です。なお、修理可能な期間は、ご使用条件により異なります。また、修理可能な場合でも、元どりの精度とならない場合があります。販売店とよくご相談ください。
- 修理の際、部品・その他の付属品は、一部代替部品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。
- 保証期間外、または無料修理の対象とならない修理の際は、本体の修理料金のほか、販売店と修理工場との間の往復運賃など、諸費用をお客様にご負担いただきます。なお、修理代金が標準小売価格を上回る場合があります。あらかじめご承知ください。
- 保証期間中・経過後ともに、修理を依頼されるときは本製品を販売店にご持参ください。
- お客様が本製品を分解されると、修理不可能となる場合があります。また、けがの恐れがあり大変危険です。さらに、保証の対象外となりますので、ご注意ください。
- ご不明な点は、お客様相談室にお問い合わせください。

必ずお守りください 安全上のご注意

危険

<コイン型リチウム電池・ボタン電池について>

- (1) 電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください。
- (2) 誤って電池を飲み込むと化学やけど、粘膜組織の貫通など最悪の場合は死に至ることがあり、すぐに取り出す必要があります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

警告

<コイン型リチウム電池について>

- (1) 充電、ショート、分解、変形、加熱、火に入れるなどしないでください。
この電池は、リチウム、有機溶媒など可燃性物質を内蔵しており、発火、発熱、破裂の原因となります。
- (2) 電池を廃棄する場合および保存する場合には、テープなどで絶縁してください。他の金属や電池とまじると発火、破裂の原因となります。

<梱包用ポリ袋について>

窒息する恐れがありますので、ポリ袋を絶対にかぶらないでください。

注意

<時計の設置場所について>

落下により、けがをしたり器物を破損する恐れがありますので、振動のある場所や、不安定な場所には時計を設置しないでください。

<電池について>

下記の注意事項を必ず守ってください。電池の使い方を間違えると、液漏れや破裂によるけがの恐れがあり、また、機器の故障の原因となります。

- (1) 電池は必ず(+)側から入れてください。また、(+) (-)を正しく入れてください。
- (2) 製品仕様に記載された電池寿命を経過した場合は、時計がまだ動いていても、すべて新しい電池と交換してください。また、時計を使わないときは、電池をすべて取り外してください。電池を入れたままにしておくと、古い電池からの液漏れなどにより、時計や周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。
- (3) 付属の電池は充電式ではありません。充電すると液漏れや破損の恐れがあります。
- (4) 電池に直接ハンダ付けしたり、水滴を付けないでください。
- (5) 直射日光の当たる場所や、高温・多湿の場所を避けて保管してください。また、使用済の電池は速やかに処分するか、幼児の手の届かない所に保管してください。
- (6) 時計が動かない場合などは、電池の端子が汚れていることがあります。そのときは、やわらかい布などでクリーニングしてください。
- (7) 付属の電池は、工場出荷時に同梱された、動作を確認するためのモニター用電池（お試用電池）です。したがって、お買い上げ後、製品仕様の年数に満たないうちに電池寿命が切れることがあります。
- (8) 充電式電池や初期電圧が高い電池を使用しないでください。正常に動作しなかったり、電池寿命が短くなるなどの不具合が発生する場合があります。

<時計と電池の廃棄について>

お住まいの自治体の定める規則に従い、廃棄してください。

<液晶パネルについて>

液晶パネルが破損した場合、ガラスおよび中の液晶には十分に注意してください。

万一以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。

- (1) 皮膚に付着した場合は、付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- (2) 目に入った場合は、きれいな水でよく洗い流し、最低15分間洗浄した後、直ちに医師の診断を受けてください。
- (3) 飲み込んだ場合は、きれいな水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出した後、直ちに医師の診断を受けてください。

必ずお読みになってからご使用ください

使用場所・携帯時について

下記のような場所では、**使用しないでください。また、携帯時にご注意ください。時計や電池の品質が確保されなくなり、誤作動や精度不良、電池切れを起こすことがあります。また、本製品は業務用ではありません。**

- 温度が50℃以上になる所や直射日光の当たる所。
（例）屋外、または暖房器具などの熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃以下になる所。
プラスチック製の部品や電池が劣化することがあります。
- ちり・ほこりの多い所。
空气中に舞い上がったごみが歯車や接点に挟まり、時計が止まる場合があります。
- 大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁気のある所。
磁力の影響で、進み・遅れが生じたり、時計が止まる場合があります。
- 浴室など湿度が90%以上になる所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接当たるような所。
- 振動のある所。不安定な所。
- 工場、台所など、多くの油を使用する所。
霧状になった油分が時計の歯車などに付着し、時計が止まる場合があります。
- ビニール系素材の壁、敷物などの上。
壁や敷物、および時計が汚れたり傷むことがあります。
- 木枠の時計の場合は、空気が非常に乾燥した状態や湿気の多い状態が続くと、枠が傷むことがあります。また、40℃以上の高温になると、接合部が変形したり損傷することがあります。
- 寒い所から暖かい所への移動などによる、急激な温度変化を避けてください。
（結露に注意してください）

本製品をご使用の際は、できるだけ電波を受信しやすい窓際などに設置してください。なお、天候、時間帯、建物の影響など、次のような環境条件下では正確に受信できないことがあります。場所を変えてご使用ください。

- ビルの中、ビルの谷間、地下
 - 高圧線、テレビ塔、鉄道の架線の近く
 - 冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリなどの家電製品やOA機器の近く
 - 工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など、電波障害の発生しやすい所
 - 乗り物の中（自動車、電車、航行機など）
 - スチール机など、金属製の家具の上や近く
 - 電波ノイズや各種電波を発生させる機器の近くなど
- ※電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で動作します。

液晶パネルについて

- 見る方向によって表示が薄くなったり、ムラになったりすることがあります。
- 温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなる場合があります。
- 温度が高くなると液晶パネル面が黒くなり、判読できなくなる場合があります。
- 次の場合、静電気や圧力を加えることにより、黒い線・しみ・縞模様が発生することがありますが故障ではありません。しばらく放置しますと元に戻ります。
 - ・表示部の透明シールをはがしたり、乾いた布などで拭いたとき
 - ・指などで液晶パネルを押したとき

お手入れについて

- お手入れの際、ベンジン、シンナー、アルコール、磨き粉、各種ブラシなどは使用しないでください。また、殺菌剤、ハスプレーなどがかからないようにしてください。変色したり、傷が付く恐れがあります。
- 汚れやほこりを取るときは、やわらかい布で乾拭きしてください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を少量、やわらかい布に含ませてふいてください。その後、やわらかい布で乾拭きしてください。

製品仕様 改良のため予告なく変更する場合があります。

- 時間精度：平均月差±30秒（気温5℃から35℃で使用した場合）
（電波受信による時刻修正を行わない場合）
- 表示精度：±1秒（電波受信による時刻修正を行った直後）
- 使用温度範囲：-10℃～+50℃ ただし、表示判読可能温度範囲 0℃～+40℃
- アラーム：音声と3段階に変化する電子音、約5分間オートストップ、約5分間スヌーズ（スヌーズは何回でも繰り返すことができます。）
- カレンダー：2000年1月1日～2099年12月31日のフルオートカレンダー
月末、うるう年とも修正不要。
- 表示：日付（月/日⇄アラーム時刻）、曜日、AM/PM表示による12時間制または24時間制表示
- 使用電池：コイン型リチウム電池（CR2450）1個
- 電池寿命：約1年
- 電波受信機能：自動受信（午前2時から3時間ごと。次の受信までクォーツの精度で動いています。）
手動受信

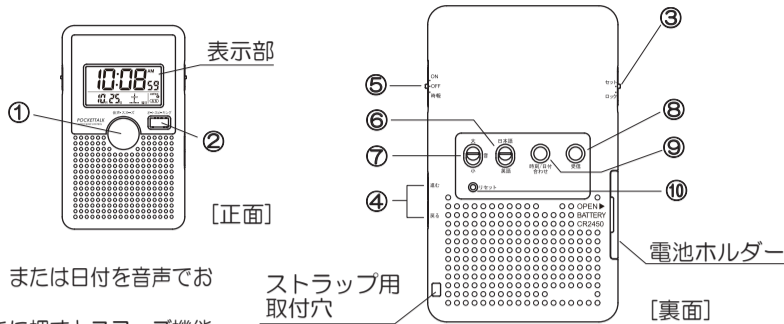
ご使用方法 ▶ (時計により外観、ボタン・電池の位置が異なりますが、操作は同じです)

■付属品 ご使用の前にご確認ください。

- 取扱説明書(日本語・英語) 各1枚 ●保証書 1枚 ●ソフトケース 1袋
- コイン型リチウム電池(CR2450) 1個(※モニター用電池)

※付属の電池は、動作を確認するためのモニター用電池(お試用電池)です。お買い上げ後、仕様の年数に満たないうちに電池が切れることがあります。

■各部の名称



① 音声・スヌーズボタン

- ボタンを押すと現在時刻、または日付を音声でお知らせします。
- アラームが鳴っているときに押すとスヌーズ機能が働き、約5分後に再びアラームが鳴ります。

② オートスピーキングボタン

- ボタンを押すと、1分毎に15分間現在時刻をお知らせします。

③ ロックスイッチ

- 通常は、ロックの位置に合わせてください。
- ※「⑧受信ボタン」「④進むボタン/戻るボタン」は効かなくなり、誤作動を防止します。

④ 進むボタン/戻るボタン

- アラーム時刻または現在時刻や日付を合わせるときに使用します。

⑤ アラーム/時報スイッチ

- ON : セットした時刻にアラームが鳴ります。
- OFF : アラーム、時報ともに鳴りません。
- 時報 : 正時(0分)を音声でお知らせします。(アラームは鳴りません。)

⑥ 日本語/英語切替スイッチ

- 音声を日本語/英語に切り替えるときに使用します。

⑦ 音量切替スイッチ

- 音量を「大」または「小」に切り替えるときに使用します。

⑧ 受信ボタン

- 通常表示(日付・時刻が表示状態)のときに押すと標準電波の受信を開始します。
- 受信中に押すと受信を中止します。

⑨ 時刻/日付合わせボタン

- 手動で現在時刻や日付を合わせるときに使用します(2秒以上押し続けてください。)

⑩ リセットボタン

- 初期設定を行ないます。
- 電池交換後は先端の細いもので必ず押してください。

■表示(日本語)

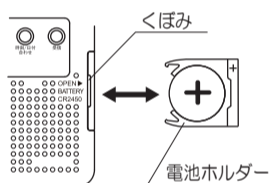


■ご使用方法

製品によって、表示部に透明シールが貼ってあります。シールが貼ってある場合は、ゆっくりはがしてください。(このとき静電気により黒い線、しみなどが発生することがありますが、しばらく放置しますと元に戻ります)

1. 電池を入れてください(コイン型リチウム電池 CR2450 1個)

- 時計裏面のくぼみ部分にマイナスドライバーなどをかけて、電池ホルダーを引き出してください。
- 絶縁紙ははずしてください。
- 電池の(+)側を上にして正しく電池ホルダーに入れ、時計にはめこんでください。



注) コイン型リチウム電池は電池の側面を持ってください。電池の(+)面をショートさせると危険です。

2. リセットボタンを先端の細いもので押してください

- 「⑩リセットボタン」を先端の細いもので押してください。
- 表示が全てついた後、時刻「12:00AM」となり、標準電波の受信を開始します。
- ◇窓際などでできるだけ受信しやすい場所でのご使用をお勧めします。
- 受信中は、①マーク(または②マーク)が点滅し、受信マークが受信状態に応じて変化します。
- 受信に要する時間は最長約20分間です。

注) 電池交換後は、必ず「⑩リセットボタン」を押してください。

【受信成功】

- 受信マークが表示され、[月/日] [曜日] [時:分] [秒] が正しい日付と時刻に修正されます。
- 受信成功後、正しく表示されているかをご確認ください。



【受信できない】

- 受信マークは表示されず、このとき時刻、日付の修正は行なわれていません。右記「■電波を受信できなかった場合」にしたがって場所を変えて再度受信させるか、手動操作で時刻、日付を合わせてください。
- 使用場所の受信状態が良くない場合は、数分で受信を中断することがあります。



【12/24時間制表示の選択】

- 時刻の表示を切り替えるときは、右記「■電波を受信できなかった場合 2.手動で時刻、日付を合わせる」にしたがって、12時間または24時間制表示を選んでください。(受信マークが表示されている場合、時刻の表示方法を切り替えると受信マークは表示されませんが、その後受信に成功すると再度表示されます。)

3. アラームを鳴らすには

- 「③ロックスイッチ」をセットの位置に合わせてください。
- 「④進むボタン/戻るボタン」を押してください。アラーム時刻が点滅し、アラーム時刻合わせの状態になったことを音声でお知らせします。
- 「④進むボタン/戻るボタン」を押してアラーム時刻を合わせてください。
 - 「④進むボタン/戻るボタン」を押すたびにアラーム時刻を音声でお知らせします。
 - アラーム時刻合わせの状態が再度「④進むボタン/戻るボタン」を押し続けると早送りします。
 - 約5秒間押されない状態が続くと、自動的にアラーム時刻が確定し通常表示に切り替わります。
- 「③ロックスイッチ」をロックの位置に合わせてください。
- 「⑤アラーム/時報スイッチ」をONにしてください。アラーム時刻になると音声(月日・曜日、現在時刻)と電子音でお知らせします。
 - アラームマーク(●)が点灯し、月日表示がアラーム時刻表示に切り替わります。

4. アラームを止めるには

アラームを止めるには2通りの方法があります。

【アラームを完全に止める】

- 「⑤アラーム/時報スイッチ」をOFFにして止めます。
- アラームマーク(●)が消えます。

【約5分後に再度アラームを鳴らす(スヌーズ機能)】

- 「①音声・スヌーズボタン」を押すとアラームが止まり、約5分後に再び鳴り出します。
- スヌーズ中はアラームマーク(●)が点滅します。
- スヌーズ機能は何回でも繰り返すことができます。

アラームは約5分間で自動的に止まります。(オートストップ機能)

この場合、アラームマーク(●)は表示されたままとなり、翌日のアラーム時刻に再びアラームが鳴ります。

その他の機能 ▶

■自動受信について

- 午前2時から3時間ごとに、自動で電波受信を行います。
- 受信に成功すると現在表示している時刻、日付を修正します。

■電波を受信できなかった場合

1. 電波を手動で受信させ時刻、日付を合わせる

- 「③ロックスイッチ」をセットの位置に合わせてください。
- 「⑧受信ボタン」を押してください。標準電波の受信を開始します。
 - 受信状態については、左記「■ご使用方法」をご覧ください。
 - うまく受信できない場合は本体の向きや場所をかえて、もう一度受信させてください。ご使用中に受信マークが表示されない場合は、使用場所の受信状態が良くないことが考えられます。
 - 詳しくは裏面「電波クロックについて」をご覧ください。
 - また、夜間は昼間にくらべて受信状態が良くなりますので、昼間に受信できなかった場合でも翌日までに自動で受信できる場合があります。
- 「③ロックスイッチ」をロックの位置に合わせてください。

2. 手動で時刻、日付を合わせる

電波を受信できない場合は、手動で時刻、日付を合わせてご使用ください。

- 「③ロックスイッチ」をセットの位置に合わせてください。
- 「⑨時刻/日付合わせボタン」を2秒以上押し続けてください。
- 「⑨時刻/日付合わせボタン」を押すごとに、下図のように順に表示が点滅します。
- 「④進むボタン/戻るボタン」で日付や時刻を合わせてください。
- 12/24時間制選択が終了しましたら、「⑨時刻/日付合わせボタン」を押して[通常表示]に切り替えてください。



- 「③ロックスイッチ」をロックの位置に合わせてください。
 - 設定中は「⑨時刻/日付合わせボタン」を押すごとに設定する内容を音声でお知らせします。
 - 「④進むボタン/戻るボタン」を押すと変更された内容を音声でお知らせします。
 - 「④進むボタン/戻るボタン」を押し続けている間は早送りします。
 - 設定中に「①音声・スヌーズボタン」を押すと現在設定している内容を音声でお知らせします。
 - 約5分以上「④進むボタン/戻るボタン」や「⑨時刻/日付合わせボタン」が押されなかった場合は、自動的に[通常表示]に切り替わります。時刻や日付は[通常表示]に切り替わる直前の表示です。
 - 設定中に「③ロックスイッチ」をロックの位置に切り替えますと設定ができなくなります。

■日本語/英語切替について

「⑥日本語/英語切替スイッチ」で音声を日本語 または 英語 に設定できます。

■音量切替について

「⑦音量切替スイッチ」で音声を「大」または「小」に切り替えることができます。

■音声機能について

1. スピーク機能

「①音声・スヌーズボタン」を押すと現在時刻や月日・曜日を音声でお知らせします。

【現在時刻】

- 通常表示のときに「①音声・スヌーズボタン」を1回押すと現在時刻をお知らせします。
 - 12時間制を選択している場合 “(午前/午後)0時0分です”
 - 24時間制を選択している場合 “0時0分です”
- ※音声を日本語に設定し、かつ12時間制を選択している場合、12時(0分)に限り“12時です”とお知らせします。その際、“午前/午後”はお知らせしません。

【月日・曜日】

通常表示のときに「①音声・スヌーズボタン」を2回押す(約1秒以内)と月日・曜日をお知らせします。

2. 時報機能

- 「⑤アラーム/時報スイッチ」を「時報」に合わせると、毎正時(0分)に時刻を音声でお知らせします。
- 「時報」の位置に合わせてアラームは鳴りません。

3. オートスピーキング機能

- 「②オートスピーキングボタン」を押すと、1分毎に15分間 現在時刻を音声でお知らせします。
- オートスピーキング中は(AS)マークが点滅します。
- オートスピーキング中に再度「②オートスピーキングボタン」を押すと、オートスピーキング機能は終了します。



過去24時間以内に電波を受信できていない場合は、現在時刻、月日・曜日、時報をそれぞれ音声でお知らせした後に“ブーン”と電子音が鳴ります。

■自動受信を止めるには

この時計には自動受信を止める機能があります。(誤受信の防止や設定時刻をすらすらしてお使いになりたい場合等にご使用ください。)

- 「③ロックスイッチ」をセットの位置に合わせてください。
- 「⑧受信ボタン」を、“OFF”が表示されるまで8秒以上押し続けてください。(音声でもお知らせします。)
- 上記「■電波を受信できなかった場合 2.手動で時刻、日付を合わせる」にしたがって時刻を合わせてください。
 - この機能を設定した後も「⑧受信ボタン」を押すと受信を行います。その後自動受信はしません。
 - 再度自動受信を有効にするには、「⑧受信ボタン」を、“On”が表示されるまで8秒以上押し続けてください。(音声でもお知らせします。)
- 「③ロックスイッチ」をロックの位置に合わせてください。

■ご注意

- この製品にはマイコンが内蔵されています。静電気等により誤作動することがありますが、故障ではありません。「⑩リセットボタン」を押してください。
- 「⑩リセットボタン」を押した場合は、設定された時刻等はすべてリセットされます。
- この製品には、ストラップは付属しません。
- この製品は、日本標準電波仕様ですので、海外で電波修正機能は使用できません。
- 電池交換後は、必ず「⑩リセットボタン」を押してください。